

気仙歴史の道を歩いてみよう

ピックアップ
道の日

～高田遠野街道～竹駒・横田の史跡を訪ねて～

大船渡地方振興局

8月10日

「道の日」を記念して、気仙地域の道路関係機関で構成する「道の日」記念行事実行委員会の主催で、「気仙歴史の道を歩いてみよう」を開催しました。

高田遠野街道は、「奥州道中」の日詰駅から、大迫・宮守駅を經由して遠野郷に入り、旧南部領と仙台領を境する赤羽峠を越えて、上有住に達したあと下有住・世田米・横田を経て高田駅に至る街道です。高田街道とも言います。今回は竹駒町竹駒神社から横田町「川の駅よこた」までの7kmを散策踏破しました。

出発式は道の駅高田松原「タピック45」野外ステージ前で行い、地元の中里陸前高田市長から生活に密着した「道」の意義を含めたあいさつをいただいた後、スタート地点の竹駒神社に移動し、夏の日差しが照りつける中、参加者250名による歴史街道散策が始まりました。

中間地点の熊野神社の休憩場所では地元の取れたてのトマトやキュウリが振舞われました。また、到着地の「川の駅よこた」では、地元の方々が作ってくださった「ひつつみ汁」に大勢の参加が舌鼓をうちました。同地で閉会式を行い「道の日」記念行事を無事終了しました。

「道の日」記念行事をご理解のうえ参加下さいました皆様に、そして、お忙しい中散策コースの草刈りや会場準備を行っていただいた地域住民の方々、他関係各位に厚くお礼申し上げます。

散策コースの主な見所（陸前高田市米崎町細谷英男氏作成の資料より）

1 竹駒神社

天平6年（734年）、行基菩薩によって玉山金山が発見されたことから京都伏見稻荷大社より金山守護神として勧請後、天治元年（1124年）、平泉藤原清衡公が金色堂造営の時に玉山金山を経営し、竹駒神社を奉斎したと伝えられる。金山衰退後天明7年（1787年）に現在地に遷座し旧竹駒村の総鎮守となった。

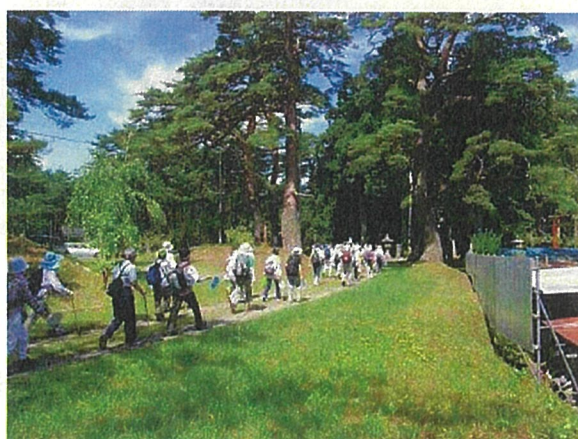
2 熊野神社

延徳年間（1489～92年）、開祖宝珠院養源法印が紀州東牟婁郡新宮村国幣大社熊野権現を勧請し、旧横田村大田の地に当初社殿を建て「太田権現」として祀っていたが、葛西家の臣、昆野右馬允が本宿館に居城すると館内に社殿を建てて遷座した。天正18年（1590年）8月、葛西氏没落とともに以後旧横田村の鎮守として祀られてきました。

[竹駒神社鳥居]



[竹駒神社 街道松]



[竹駒神社の境内]



[旧遠野街道散策]



[トマトときゅうりで休憩]



[熊野神社で休憩]



[ひつつみ汁を堪能]



[川の駅よこた]



— 川の駅よこた —

陸前高田市横田町の気仙川と並走する国道340号沿いに平成19年4月12日オープンした陸前高田市地域資源活用総合交流促進施設。食堂や地元の野菜などを販売する産直コーナーがある。